

提言

こどものゆめまもる基金

こどものゆめまもる基金は、保育士、大学教員など様々な経歴をもつおとなが集まり、子どもをめぐる差別や貧困の現状に対して行動したいと立ち上げたものです。

大学入試の問題、奨学金

返済の負担、ヘイトスピー

チ、子どもの貧困についての

ニュースなど、子どもたちを

巡る厳しい社会状況がテレビ

や新聞、ネットなどで取り上

げられています。本来なら、

このような状況を改善するの

は立法、行政の責務であり福

祉、教育の仕事であると思

います。しかし現状は社会状況

の変化に制度が追いついてい

ない。その結果として制度の

狭間に陥って学ぶことを諦め

ざるをえない子どもたちと出

会ってきました。子どもの責

任のないことで不利益を被る

ことを差別と規定するのな

ら、差別の現実が目の前に広



こどものゆめまもる基金

平田 洋介 さん

障がいを持っていま
す。学生は資格や免許
をとるために福祉系の
学科に通っており、実
習期間の約1ヶ月間バ
イトが出来ず翌月分の
生活費が捻出できない
という相談がありまし

た。必要最低限の1ヶ月分の
生活費は、本人に確認したと
ころ、13万円。この相談に対
応できる制度はあるでし
ょうか。親戚から借りろ。消費
者金融、友だちからの借入れ
を促す。なんとも言えます。
しかし彼のこれから先の人生
を考えるのなら13万円とい
う金額を捻出することに奔走
させるよりも、安心して実習
に臨める状況を作りだすこと
の方が福祉的であり、教育的
なのではないでしょうか。私
たちは彼に13万円を給付しま
した。またメンバーが自宅に
野菜などを届ける等の支援も

行っています。

母親と2人で暮らす中学
生。彼は小学校の頃から公設
のフリースクール（適応指導
教室）と塾で勉強を続けてき
ました。大勢の中で勉強する
のは無理なのですが彼には行
きたい高校があり、特別支
援クラスも検討されました
が、そこでは彼が希望する授
業を受ける事は出来ませんで
した。母親は持病が悪化して
働けなくなり、年金と手当だ
けの生活となりました。中学
生になると塾の費用も高額と
なり、辞めています。無料で
通える公設のフリースクール
は、住んでいる自治体に1ヶ
所しかなく、公共施設の一室
で行われているため、最近
は人数が増えて騒々しくなり
足が遠のいてしまいました。行
く場所がなくなると、親子2
人で過ごすことが多くなり、
お互いにストレスを抱えてし

まう。何かいい方法はないか
とあれこれ探した結果、民間
のフリースクールに出会った
のですが、ここでは授業料が
かかります。何とかやりくり
をしてもあと半分の費用が不
足します。そこで、彼が勉強
を継続できるように給付を始
めました。

ここで紹介した2例の他に
も相談を受け支援を行ってい
る子どもたちがいます。「困
難な状況の中で頑張っている
子ども」を社会は求めがちで
すが、現実はずっと厳しいの
です。

先日「身の丈にあった受験
を」と文部科学大臣が発言し
ましたが、どんな子ども、家
庭だろうと子どもたちが自分
の身の丈で、公正平等に受験
でき、学びを続けることがで
きる制度設計を行う責任を、
文部科学省こそ負っているの

（9ページに続く）

です。

繰り返しになりますがこの問題を是正するのは「公」の責任です。しかし制度が変わるまで子どもたちは待てません。私たち「こどものゆめまもる基金」は「こどものゆめまもる基金」が必要とされない社会を目指しています。その為に、関わってきた保護者、子どもたちの声を行政や教育機関に届け、制度設計を改善する活動を並行してやっていくことを、給付と同じくまたそれ以上に重要な仕事と考えています。

私たちの活動に賛同していただき協力していただけるならば、寄付を宜しく願います。

〈振込先〉

ゆうちょ銀行

記号 1 7 1 9 0

番号 3 9 4 2 6 4 7

他行からの場合

ゆうちょ銀行

店番 7 1 8

普通預金 3 9 4 2 6 4 7